PRESS RELEASE

2025 年 3 月 4 日

日本和装ホールディングス株式会社

幻の国産蚕「太平長安」が紡ぐ未来

～「Reborn The Silk プロジェクト」拡大中～

日本和装ホールディングス株式会社（東証スタンダード上場／証券コード 2499、本社：東京都港区）が CSR 活動の一環として取り組む養蚕支援「Reborn The Silk プロジェクト」は、3 年目を迎え、順調に拡大を続けています。

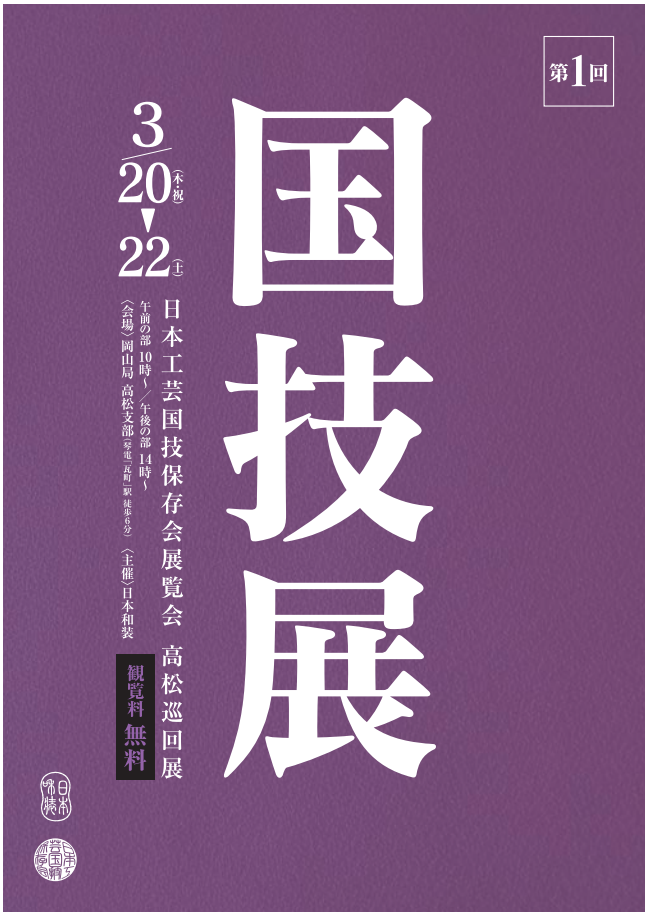
同プロジェクトは、長らく幻とされてきた国産蚕「太平長安（太平×長安）」を復刻し、蚕の飼育から製糸、製織、染色を経て反物を作り、着物や帯として着物愛好家へ届けることで、国産シルクの流通を構築していきます。



「Reborn The Silk プロジェクト」は開始以来、着実に成長を遂げており、2023 年の 2 箱（約 4 万粒）から、2025 年は 6 箱（約 12 万粒）、2026 年は 10 箱（約 20 万粒）を予定するなど生産規模を拡大。将来的には年間 200 箱（約 400 万粒）の太平長安（太平×長安）の育成を目指し、国内の養蚕業の支援に寄与してまいります。

希少品種の蚕の育成には、長野県の養蚕農家・竹内慶子さんや、150 年以上の歴史を持つ山梨県のアシザワ養蚕が協力。特にアシザワ養蚕の芦澤洋平社長が立ち上げた「日本サステナブルシルク協会」が運営する「日本シルクワーカーズ.net」との連携により、新たな協力会社との取引が生まれ、国内養蚕業を未来へつなぐ支援の輪が広がっています。
今後もこのつながりを通じて、持続可能な日本のシルク産業の発展に貢献していきます。

また、同プロジェクトはこの春、新たなステージへと進みます。
「Reborn The Silk プロジェクト」から生まれた太平長安（太平×長安）の生糸を用いて、次世代の職人が創作した着物や帯が、日本工芸国技保存会主催の「第 1 回 国技展（日本工芸国技保存会展覧会）」にて紹介されることが決定しました。
国技展は、3 月の高松巡回展を皮切りに全国 13 会場を巡回予定。幻の蚕が紡ぎ出す、上品な光沢としなやかな風合いを持つ美しい作品の数々を、ぜひ会場でご覧ください。





日本和装ホールディングスは、今後も「Reborn The Silk プロジェクト」を通じ、養蚕業の支援と和装文化の継承に尽力してまいります。

【太平長安（太平×長安）】

日本の蚕糸業に貢献した片倉製糸紡績（現 片倉工業株式会社）開発による富岡製糸場全盛期の名品種。国内はもちろん、世界中から高い評価を受けていましたが、現代では幻の蚕となり、貴重な卵は大日本蚕糸会に引き継がれて維持保存されています。太平長安（太平×長安）の蚕が紡ぎ出す糸は細く丈夫で、ハリと軽さを併せ持つ美しい生地になるといわれています。





（写真上）1940 年頃の富岡工場全景　（下）松江製糸場に昭和天皇が行幸された時の原料繭「太平×長安」の陳列　（提供/片倉工業株式会社）

■会社概要

日本和装ホールディングス株式会社

事業内容　きものや帯の販売仲介業。全国で無料の着付け教室を展開（卒業生 22 万名超）

本社所在地　東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

代表　代表取締役専務　鶴野 尚史

上場区分　東証スタンダード市場（証券コード 2499）

URL　https://www.wasou.com

PRESS RELEASE

日本和装®

■本件に関するお問合せ先
広告宣伝部 部長 安田知美（080-3969-1020）
MAIL：pr@wasou.com